

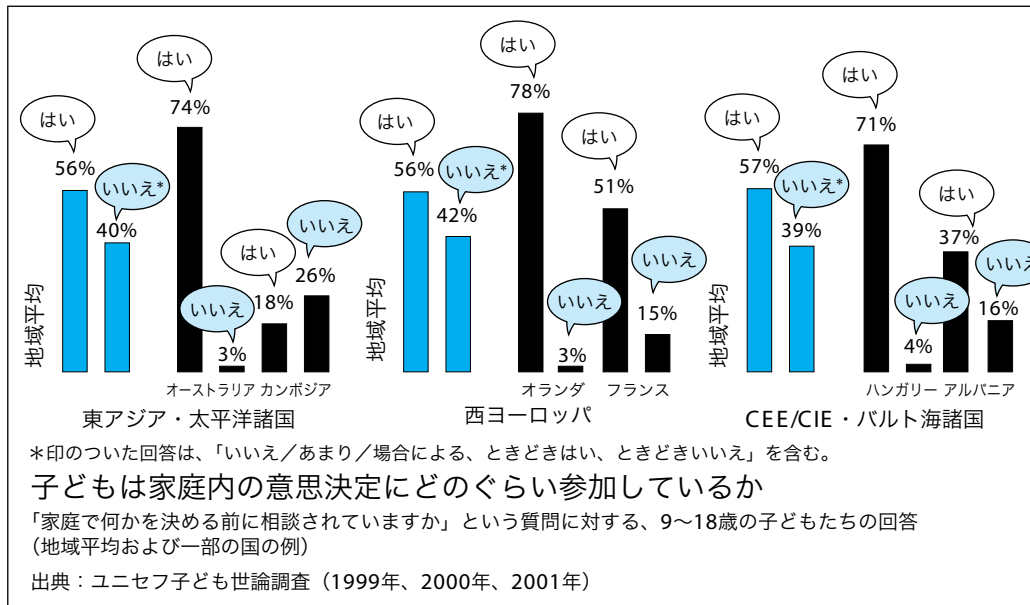
マップ

世論調査その他の調査で表明された子どもたちや若者の意見、子どもにふさわしい世界についての子どもたちの意見を、地図やさまざまなグラフで示してみた。選び出されたいくつかの指標は、自分たちの幸福を妨げる課題に対して子どもたちがどのようなビジョンを抱いているか、その一端を表すものである。

マップ

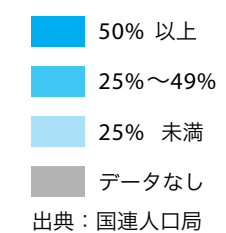
1. 子どもたちはどう考えているか	74
2. 子どもたちは何を望んでいるか（保健、教育、健全な環境）	76
3. 子どもたちは何を望んでいるか（保護）	78
マップに関する一般的留意事項	80

子どもたちはどう考えているか*



子どもたちはどこにいるか

総人口に占める18歳未満人口の割合（2001年）



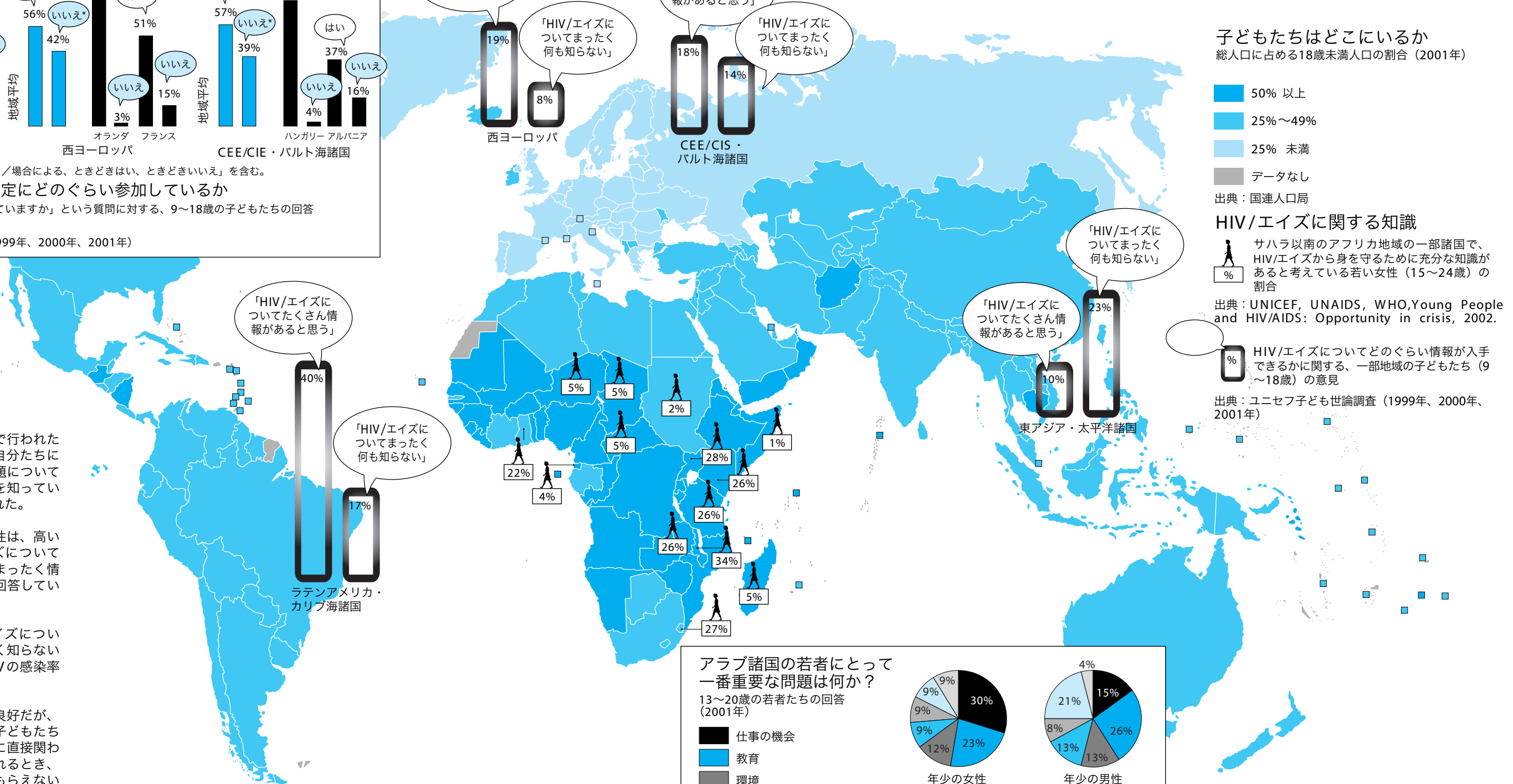
HIV/エイズに関する知識

サハラ以南のアフリカ地域の一部諸国で、HIV/エイズから身を守るために十分な知識があると考えている若い女性（15～24歳）の割合

出典：UNICEF, UNAIDS, WHO, Young People and HIV/AIDS: Opportunity in crisis, 2002.

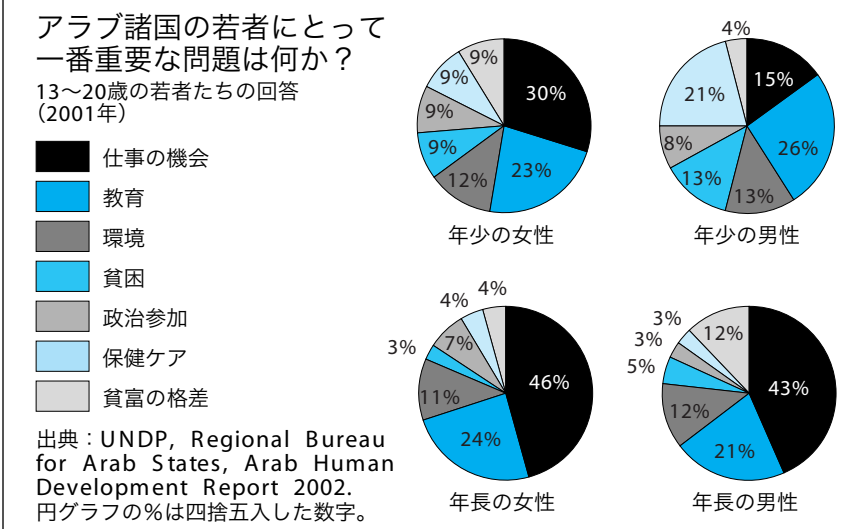
HIV/エイズについてどのくらい情報が入手できるかに関する、一部地域の子どもたち（9～18歳）の意見

出典：ユニセフ子ども世論調査（1999年、2000年、2001年）



* 子どもたちは、世界中で行われた調査や協議のなかで、自分たちに影響を与えている諸問題についてどう考えているか、何を知っているかについて語ってくれた。

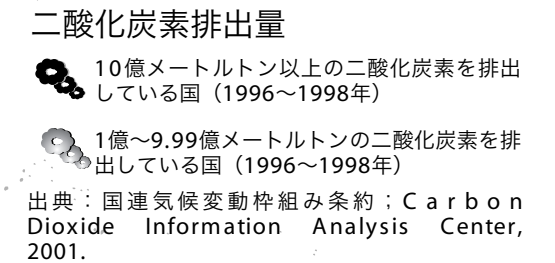
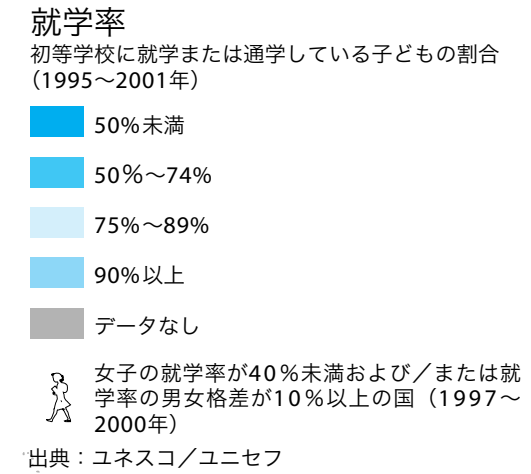
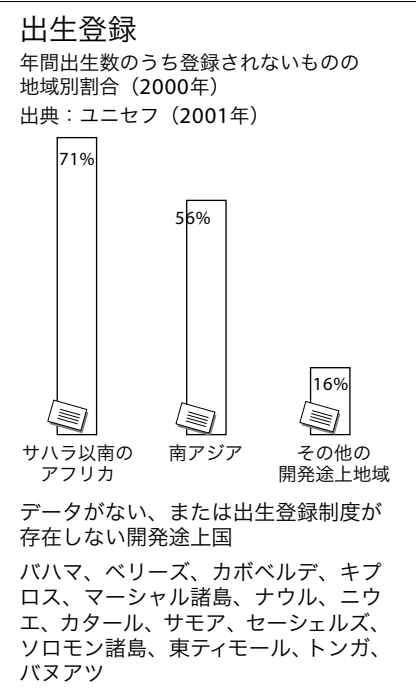
- 子どもたちや若い女性は、高い割合で、HIV/エイズについてほとんど、あるいはまったく情報を持っていないと回答している。
- 若い女性はHIV/エイズについて若い男性よりもよく知らないのが普通であり、HIVの感染率は女性のほうが高い。
- 親子関係はおおむね良好だが、世論調査に回答した子どもたちのほぼ半数は、自分に直接関わる決定が家庭で行われるとき、自分の意見を聞いてもらえないと考えている。
- 失業率が15%にのぼるアラブ連盟諸国では、仕事と教育が、世論調査に回答した13～20歳の若者の最大の関心事に挙げられている。



この地図は、いずれかの国もしくは地域の法的地位またはいずれかの国境の確定に関するユニセフの立場を反映するものではない。点線は、インドとパキスタンが合意したジャンムー・カシミールのおおよその統治線を表したものである。ジャンムー・カシミールの地位の確定については当事者の合意が得られていない。

子どもたちは何を望んでいるか*

(保健、教育、健全な環境)



* 国連子ども特別総会における声明で、子どもたちは世界の指導者たちに、保健ケア、教育、健全な環境への権利をすべての子どもに保障するよう求めた。

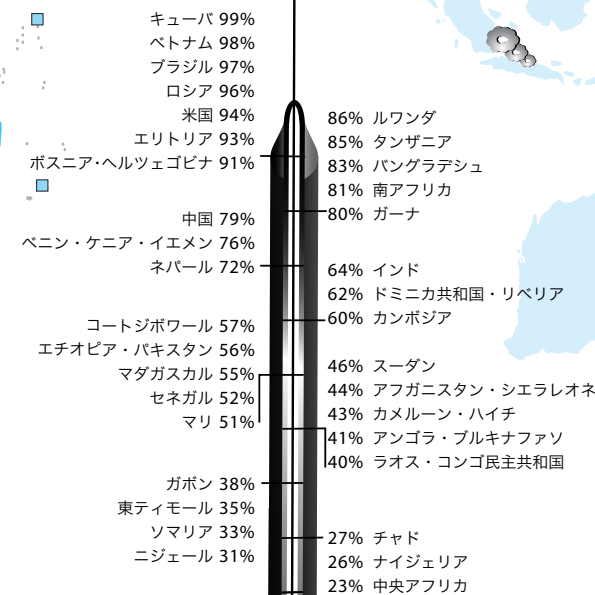
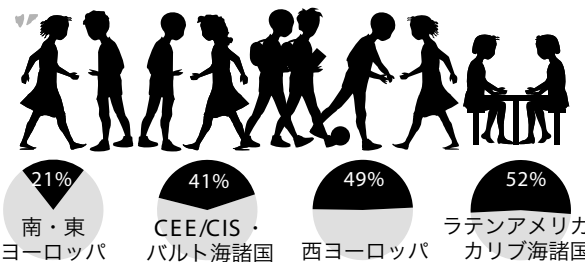
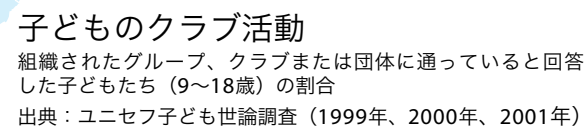
・出生登録をされない子どもは、アイデンティティ、公認された名前、国籍を与えられない。いずれも社会参加のために欠かせない要素である。2000年に生まれて出生登録をされなかった赤ん坊は5,000万人以上 (世界の全出生数の41%)にのぼった。

・初等教育年齢に相当する子どものうち1億2,000万人近くは学校に行っていない。そのうち53%は女子である。

・毎年数百万人の5歳未満児が、ワクチンで容易に予防できる病気により死亡している。

・人間の活動によって排出される温室効果ガス (二酸化炭素など) は、地球温暖化や気候変動の原因になっている。そのため、飢饉その他の災害が引き起こされる可能性がある。

・たとえば仲間集団などに子どもが参加することは、健康的な成長発達にとって不可欠である。

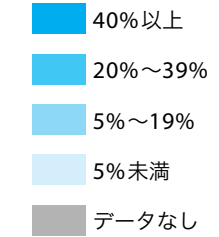


この地図は、いずれかの国もしくは地域の法的地位またはいずれかの国境の確定に関するユニセフの立場を反映するものではない。点線は、インドとパキスタンが合意したジャンムー・カシミールのおおよその統治線を表したものである。ジャンムー・カシミールの地位の確定については当事者の合意が得られていない。

子どもたちは何を望んでいるか*

(保護)

飢え
 中度または重度の低体重状態にある5歳未満児の割合
 (1995～2001年)



出典：ユニセフ

武力紛争

2001年に大規模な武力紛争が生じた国

出典：Erikson, M., M. Sollenberg and P. Wallensteen, 'Patterns of major armed conflicts, 1990-2001', SIPRI Yearbook 2002: Armaments, disarmament and international security, Oxford University

児童労働

最悪の形態の児童労働に関するILO第182号条約を批准していない国 (2002年9月現在)
 出典：ILO.

* 国連子ども特別総会で、子どもたちは世界の指導者たちに対し、自分たちが何を望んでいるかを告げた。それは、貧困、搾取、戦争を終わらせることである。

・ 貧困を主たる要因として、開発途上国の子どもたち1億5,000万人が低体重の状態にある。低体重は死亡の危険性を高め、精神的・身体的発達を妨げる。

・ 1990年以降、戦争で200万人以上の子どもたちが殺され、600万人が重傷を負った。

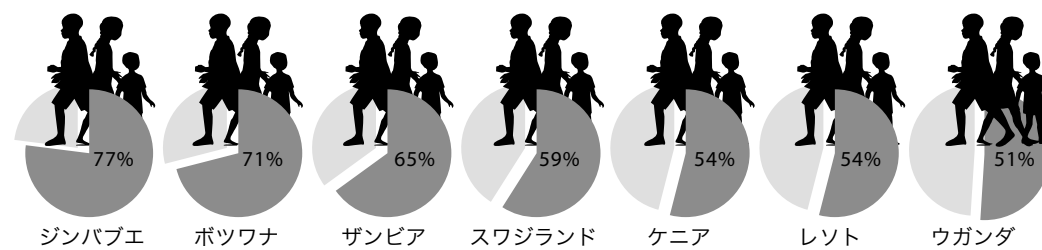
・ 法的拘束力のあるILO第182号条約は、子どもたちを虐待と搾取から保護している。約1億8,000万人の子どもが最悪の形態の児童労働に従事していると考えられており、これは世界の子どもの8人に1人にあたる。毎年、120万人の子どもが人身売買の対象とされている。

・ 現在15歳未満の子どもたち1,400万人が、エイズで親の一方または両方を失った。

エイズで親を失った子どもたち

エイズで親の一方または両方を失った子ども(0～14歳)の割合が50%を越える国(2001年)

出典：UNAIDS, UNICEF, USAID, Children on the Brink 2002.



この地図は、いずれかの国もしくは地域の法的地位またはいずれかの国境の確定に関するユニセフの立場を反映するものではない。点線は、インドとパキスタンが合意したジャンムー・カシミールのおおよその統治線を表したものである。ジャンムー・カシミールの地位の確定については当事者の合意が得られていない。

マップに関する一般的留意事項

以上のマップは、ユニセフ子ども世論調査、世界中で行われた子どもたちとの協議、さまざまなデータ源、および2002年5月の国連子ども特別総会で発表されたアピール「私たちにふさわしい世界」(66～67ページのパネル8参照)にもとづくものである。

図表化のためのデータの出典はそれぞれのマップに記載されている。スペースに余裕のあるかぎり多くの国を掲載した。一部の島嶼国は、そのままでは指標が見にくくなる可能性がある場合はボックスに囲んで掲載してある。

マップ1 . 子どもたちはどう考えているか ユニセフ子ども世論調査では、代表標本抽出により男女の子どもたちの意見を収集した。調査対象とされた子どもの人数(および年齢層)は、地域別に、ラテンアメリカ・カリブ海諸国1億300万人(9～18歳)、西ヨーロッパおよびCEE/CIE・バルト海諸国9,300万人(9～17歳)、東アジア・太平洋諸国3億人(9～17歳)である。質問内容は3つの地域ごとに異なるため、ここに掲げられた結果を、異なる地域の国同士を比較するために用いるべきではない。同じように見える質問でも、回答の選択肢が異なる場合も同様である。HIV/エイズについてどのぐらい情報が入手できるかという点に関してこれらの地域の子どもたちが表明した意見は、子どもたちが自分の知識をどう思っているかという点に関するものであり、何らかの形で知識をテストした結果にもとづくものではない。HIV/エイズから身を守るために十分な知識があると考えている若い女性(サ

ハラ以南のアフリカ地域の一部諸国)は、HIVの性行為による感染を予防する正しい方法を挙げるとともに、HIVの感染または予防に関する大きな誤解を否定するという両方の要件を満たした回答者である。この指標は、2つの予防手段(コンドームの使用、単一のパートナーとの交際)と、上述の誤解に関する知識を複合して構成されている。アラブ諸国の若者にとって一番重要な問題は、エジプト、ヨルダン、レバノン、リビア、サウジアラビアおよびアラブ首長国連邦の15～20歳の若者と、アラブ子ども会議(ヨルダン・アンマン、2001年7月)に参加した13～17歳の若者という、2つのグループの標本抽出調査にもとづいたものである。

マップ2 . 子どもたちは何を望んでいるか(保健、教育、健全な環境) とくに留意事項なし。

マップ3 . 子どもたちは何を望んでいるか(保護) 飢えおよび栄養不良というのは幅広い用語であり、それぞれ複数の複雑な問題を意味している。いくつか挙げるとすれば、食糧安全保障、貧困、サービス提供の欠如、不十分なケア、安全でない水などである。いずれも所得貧困の原因であるとともに結果であるため、この指標はここでは貧困指標に代わるものとして掲げてある。「大規模な武力紛争」は、『SIPRI年鑑2002年版』(SIPRI Yearbook 2002)に従い、統治形態および(または)領域に関わる非両立的な争いであって、それをめぐって2つの当事者(そのうち少なくとも一方は国の政府であるものとする)の軍隊間で武力が用いられ、それによる戦闘関連の死者が任意の1年間に少なくとも1,000人にのぼったものとして定義されている。